

(様式1)

「確かな学力の育成に係る実践的調査研究」
メニュー①－1 学力向上実践研究（小・中学校）
平成22年度委託事業完了報告書
【推進地域】

都道府県名	山口県	番号	35
-------	-----	----	----

推進地区名	推進校名	研究主題
下関市	下関市立川中西小学校	IⅢ型
長門市	長門市立仙崎小学校	I型
阿武町	阿武町立奈古小学校	IⅡ型
山口市	山口市立大殿中学校	I型

○ 取組の概要

1 重点課題への取組状況

本県では、これまでの全国学力・学習状況調査結果や各学校の取組状況等の分析をとおして、学力の課題を以下の3点とし、学校の重点取組事項を設定し、取り組んできた。

【学力の課題】

- 基礎基本の定着
- 活用する力の育成（表現力等）
- 学習意欲の向上

【学校の重点取組事項】

- ① 学校の組織的な取組の強化
- ② 教員の授業力の向上
- ③ 学習内容の充実と指導の工夫改善
- ④ 家庭・地域社会との連携

各推進地区及び推進校では、それぞれの具体的な課題を解決するために取組を推進し、成果の普及に努めている。県においても学校や市町の取組を支援してきている。平成22年度の重点課題及び取組状況は、以下のとおりである。

【課題】

- 全国学力・学習状況調査の結果等から、学力の課題として、基礎基本の確実な定着、表現力等の活用する力の育成、学習意欲の一層の向上に取り組む必要がある。
- 授業評価等を用いた組織的な取組を一層推進するとともに、家庭との連携についての取組を工夫する必要がある。
- 推進校における取組を推進地区の教育研究会等と連携して普及する取組は進んでいるが、全県に広める取組を今後検討する必要がある。

【取組状況】

実施時期	支援委員会・推進地域支援事項	備考（推進地区等）
4月		・H21の課題解決に基づく取組
5月	・27日 支援委員会による計画への指導助言（「やまぐち	

	学習支援プログラム」教材作成委員会との連携（単県）	
6月	・18日 推進地域推進校の訪問（下関市立川中西小学校）	
7月	・2日 推進地域推進校の訪問（阿武町立奈古小学校） ・教材の拡充、基礎基本問題の提供（「やまぐち学習支援プログラム」教材作成委員会との連携）（単県）	・各地域の実情に応じた取組の普及
8月		
9月		
10月	・22日 仙崎小成果発表会訪問 ・29日 奈古小成果発表会訪問	・成果発表会（仙崎小） ・成果発表会（奈古小）
11月	・12日 川中西小成果発表会訪問	・成果発表会（川中西小）
12月	・やまぐち総合教育支援サイトへのWeb掲載	（推進地区への普及）
1月	・28日 大殿中学校成果報告会	・成果報告会（大殿中学校）
2月	・支援委員会（成果報告会）の開催	・研究のまとめ作成
3月	・研究のまとめ作成	

2 3年間の成果及び今後の課題

(1) 成果と取組

平成22年度全国学力・学習状況調査の結果、平均正答数4分野の合計が小中学校ともに、全国平均を上回った。（小学校：山口40.6 全国40.3、中学校：山口63.3 全国62.2）

平均正答率では、右図のように、小学校では、過去3年間で最も高い結果であり、国語A・B、算数Bで全国平均を上回っている。中学校では、国語A・B、数学A・Bの全てで全国平均を上回っている。

また、質問紙調査の結果からは、授業で自分の考えを发表或したり、話し合う活動がよく行われていること、問題にねばり強く取り組む児童生徒の割合が高くなっていること、基本的な生活習慣や規範意識、地域とのかかわり等はこれまでと同様全国と比べて望ましい状況であることなどが明らかとなった。

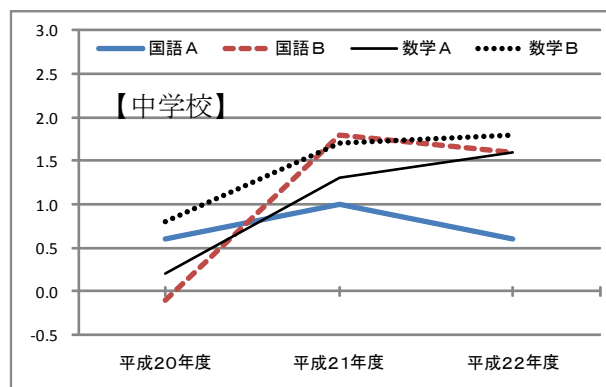
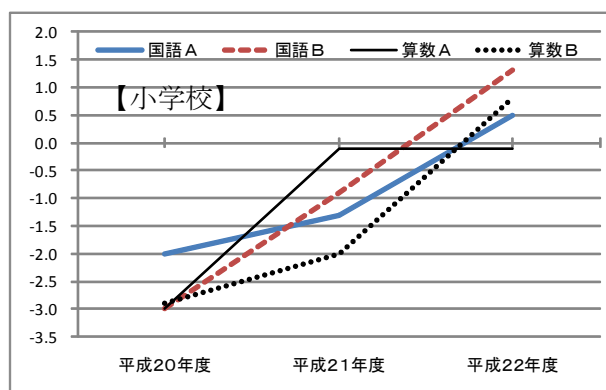
これらの成果は、児童生徒の努力はもちろんのこと、学校の組織的な取組や家庭との連携、教育委員会の支援など、これまでの取組が定着しつつあり、全体として、その成果があらわれたものであると考えている。

特に本事業の推進地域・推進校は、モデル校として発表会や報告会を開催し、県内の多くの先生方に取組の普及啓発に努めている。

① 学校の取組

- ・全教職員で成果や課題を共有し、学力向上に取り組んでいる。
- ・授業研究を伴う校内研修が増加し、ワークショップ形式の協議会が盛んに実施されている。
- ・自分の考えを发表或したり、話し合う学習活動が充実してきている。

【全国学力・学習状況調査平均正答率の全国比（3か年）】



- ・家庭との連携を深め、学習規律の確立や生活習慣の改善に努めている。
- ・学校の諸活動へのPTAや地域の方々のボランティア参加が増えている。
- ・自校の取組成果を発表し、普及啓発に努めている。

② 市町教育委員会の支援

- ・児童生徒の学力の状況を把握するため、市町独自で学力検査等を実施している。
- ・各市町の課題に応じた学力向上に係る協議会等を開催し、具体的な取組を推進している。
- ・学校訪問、授業提供等の学校の課題に応じた積極的な支援を行っている。

③ 県教育委員会の支援

《学校の組織的な取組の強化のために》

- ・県市町教委指導主事合同研修等による情報共有（学校の課題・取組）
 - ・学校の課題に応じた重点的・継続的な学校訪問指導
 - ・各推進校等において支援委員会を開き、市町教委、指導者等と共に取組を支援
- 《教員の授業力の向上》

- ・指導主事や教育力向上指導員による学校への課題に応じた授業提供
- ・80校の小中学校研修主任対象に校内研修充実講座の実施
- ・「やまぐちっ子学力向上だより」等による授業改善の情報提供

《学習内容の充実と指導方法の工夫改善》

- ・きめ細かな指導体制の充実（小1～4・中1～3の35人学級化、少人数指導、学力向上等支援員 等）
- ・基礎基本の定着と活用する力を高める学習教材「やまぐち学習支援プログラム」と学力状況確認システムの活用促進

《家庭地域社会との連携》

- ・全国学力・学習状況調査の分析結果や学力向上の取組等の情報提供
- ・生活リズムの定着や家庭学習の習慣化のための保護者への啓発（リーフレット「夢を育む家庭の元気」、県広報誌「ふれあい夢通信」、「やまぐちっ子学力向上だより(家庭版)」)
- ・自主学習習慣の形成を支援する基本問題学習プリントのWeb公開（やまぐち学習支援プログラム <https://shien.ysn21.jp/gakushi/>)

(2) 課題と今後の対応

【課題】

- 引き続き課題を有する学校への支援が必要
- 授業研究を伴う校内研修の実施回数、質の両面からの充実が必要
- 課題の見られた領域や単元の指導における「やまぐち学習支援プログラム」の活用
- 学力低位層の底上げと、上位層の引き上げ
- 家庭学習時間の確保と計画的な家庭学習習慣の形成

【今後の対応】

各学校・市町教委・県教委が連携を一層密にするとともに、保護者や地域の方々と一体となって、これまでの調査結果等から明らかとなった課題を踏まえ、児童生徒の確かな学力の定着・向上に向けて、引き続き下記4つの重点事項をもとに取組を推進する。

- ① 学校の組織的な取組の強化
- ② 教員の授業力の向上
- ③ 学習内容の充実と指導の工夫改善
- ④ 家庭・地域社会との連携

